



室内も庭も素晴らしい盛岡・南昌荘（代々の豪商の手を離れて、今は市の生協が運営。自然の風の吹き抜けるこの部屋で、おはなし会がありました。）



伊・豆・高・原・便り = 外伝

沙羅の樹文庫でワクワクする高齡期

近所の子も達と一緒に文庫に通うようになって何年かな？子どもとの会話も楽しいが、私が一番楽しいのは「絵本や紙芝居を読んでもらう時間」です。若い頃には子どもに読んで聞かせてきたのですが、聞くのは幾つになってもワクワク・ドキドキ・アレアレどうなるの？と一緒に声を出したり想像したりする。幼児向けの絵本もおもしろい。ワハハと笑う。こんな楽しい経験を地域の沢山の子どもに経験させたいと願うのです。

大きな沙羅の樹の下の三角の建物とウッドデッキもワクワクする場所、晴れた日のデッキでのお話は空を見上げ幸せを満喫しながら過ごす時間、上手な読み聞かせを聞くと「私もあんなにやってみよう」と思うが残念ながら声が出ない。

沙羅の樹文庫に通ってくる子ども達が限度ぎりぎり 10冊の本を探して借りていくのを見てみると、他の子ども達にも同じ経験をさせてやりたい。この空間を維持してくれている皆さんに心から敬意を表します。これからもよろしくお願いします。

伊豆に戻って「あれ？子ども達の遊び環境これで十分？」寂しい現状に驚いた。都会の児童館や図書館、公園など様々な体験の場を見てきたので、「誰もがいつでも使える「子どもの会館」が欲しい」と思った。

2019・今後の開館スケジュール

- ◆9月は通常 14日(土)と15日
- ◆10月は変則 13日(日)と14日(月・祝日)
- ◆11月は通常 16日(土)と17日(日)
- ◆12月は変則 21日(土)と22日(日)
- ★★★クリスマスお楽しみ会おはなし会★★★
- ★22日 10:30~12:00★

毎月開館日の日曜には、
「子どものための小さなおはなし会」
♥午前10:30~11:00♥

《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》
みんなで勉強会(おはなし・沙羅)は、
毎月開館日の土曜 11:00~13:00

※文庫は原則第3の日曜日とその前日の土曜日
文庫の時間：土曜日は午後2時~5時
日曜日は午前10時~午後3時

沙羅の樹文庫

T413-0235 伊東市大室高原 7-122

ホームページ: saranokibunko.com



文庫あれこれ

一本桜と岩手山(小岩井農場敷地から)



◆明日、文庫に行ってから仕上げようと思っていた文庫だよりですが、今日夕方(11日)、台風の影響を心配して見に行ってくれた伊豆急ハウジングの人からの電話で、文庫が停電だと、復旧の目処がたたない知り唖然としています。スタッフの方たちのお家はどうか、停電、断水は免れているようですが、みなさんのお宅は？というわけで、文庫のパソコンやプリンターが稼働してくれるか、空調がきかなければ、開館もできない?! ◆自然災害の前に、科学の力は未だ微力ですね。◆関東では千葉の停電、断水を伝えるニュースはあっても、伊東のことは・・・ ◆ということで、この文庫だより、今月みなさんのお手許に届くか否か。 ◆8月下旬、毎年海の日に、はるか岩手・盛岡から語りかけてくれる友人のところへ、思い立って一晩泊まりで行ってきました。花巻には行けなかったのですが、宮沢賢治ゆかりの地を案内してもらいました。表紙の下の写真は、賢治の最初の書『注文の多い料理店』の出版社(光原社)あです。(バックの白壁に賢治の詩が) ◆左は、旧盛岡農学校(現岩手大学農業資料館)と、帽子を被りうつむいて畑を歩き回っている(左)賢治、バートーベン風ミニチュム。 ◆自宅近くを歩いていたら、ある家に夾竹桃と木槿と百日紅の木が並んで、今を盛り咲いていました。心軽やくひととき。このあと、東京は、夕方ものすごい雷と雨。 ◆文庫が開けますように!! (西村)



“ストックホルムにある「ユニバッケン」のような会館を作りたい”、記憶に残る「ストリートレイン」は小さなゴンドラに乗って上り上がりながらミニチュアの物語場面を眺め、イヤホンからお話が聞こえてくるものだ、とても興奮した!!

この楽しさを、日本の子どもにも手渡したいと夢見ている。(ユニバッケンはHPをご覧ください)

NPO 法人伊豆高原ゆるかの里代表 おだ



*10年ほど前、フィンランド、スウェーデン・デンマークと行ったのですが、ストックホルムのユニバッケン(子ども博物館)は時間がなくてスルーしました。ただ、ヴァンメルビーの<アストリッド・リンドグレン・ワールド>では、まる1日遊びました。ピッツピをはじめ、等身大の人形のやかまし村の人々の住まいと、お芝居(いろいろな物語)を楽しみました。そんな世界で子どもたちが、物語と共有・体験できるスペースがあったら素晴らしいですね。おださん、期待しています!! (さ・ら)

徒然なるままに・・・

★今月号は、お願いしたらお二人が寄稿してくれました。高原外伝では、小田さんが、子どもたちに寄せる夢(実現させてください)。鈴木さんが『山怪』で、本を読んだ感想。読みたくて買った本ですが、いまだに読めなくて。でも、麟太郎くんのママの文を読んで、どうしても読みたくなりました。

★美術館に行きたい、映画が観たいと思いつつ、溢れんばかりの様々な絵画展、映画の新聞情報をメモしながらいつも行かす。最近心が爆発しそうです。昔だったらさっさと出かけたのに、ああ年ですね。

★折々のことは 19.8.22 から。「人生はのろさにあれのろろと蝸牛(ででむし)のようであれ」(山村暮鳥)。歩くようになって、今まで気がつかなかったものが目に入るようになりました。小さな驚きや愉しみを知るようになりましたが、でもなかなか暮鳥のような心境にはなれませんでした。

まんまろく まんまろく
どうやら西瓜ほどの大きさである
だが子どもは云つた

お月さんは美味さうでもねえなあ (暮鳥)
さて、13日の十五夜はどんなでしょうか!

★アメリカから孫たちが帰ってきました。学校に慣れたら、まずは「恐竜博2019」に行って、むかわ竜(カムイサウルス)と一緒に見ましょうか!!



(皇居平川門 9.8空がお堀に映って
: ジョギング始め地点 夫さん撮影)

2019年9月に入った大人の本

フィクション

『待ち遠しい』(柴崎友香著 毎日新聞出版 2019) ID17976
 『絶声』(下村敦史著 集英社 2019) ID17977
 『我がら少女A』(高村薫著 朝日新聞出版 2019) ID17991
 『チングス紀 5 絶影』(北方謙三著 集英社 2019) ID17985

『三体』(劉慈欣著 大森望、光吉さくら、ワン・チャイ訳 早川書房 2019) ID17978
 『世界を救う100歳老人』(ヨナス・ヨナソン著 中村久里子訳 西村書店 2019) ID17982
 『天国に行きたかったヒットマン』(ヨナス・ヨナソン著 中村久里子訳 西村書店 2016) ID17983
 『地球は破壊されはしない(須賀敦子の本棚9)』(ダヴィデ・マリア・トゥロルド著 須賀敦子訳 池澤夏樹監修 河出書房新社 2019) ID17979
 『ガラン版 千一夜物語 1』(西尾哲夫訳 岩波書店 2019) ID17981
 『短編画廊-絵から生まれた17の物語』(ローレンス・ブロック編 田口俊樹他訳 パーバーコリンズ・ジャパン 2019) ID17987
 『世界魚類神話』(篠田知和基著 八坂書房 2019) ID17984

エッセイほか

『ストーリー・オブ・マイ・キャリアー「赤毛のアン」が生まれるまで』(L.M.モンゴメリ著 水谷利美訳 柏書房 2019) ID17990
 『図鑑世界の文学者』(ピーター・ヒューム監修 齋藤孝日本語監修 東京書籍 2019) ID17986

『島々百景』(宮沢和史文と写真 ラティエナ 2019) ID17988
 『女性のための鉄道旅行入門』(蜂谷あす美著 天夢人 2019) ID17980
 『ナガサキー核戦争後の人生』(スーザン・サザード著 宇治川康江訳 みすず書房 2019) ID17989

文庫

『何でも見てやろう』(小田実著 講談社文庫) ID17975
 『グリムの森へ』(高村薫、松本侑子、阿川佐和子ほか著 小学館文庫) ID16103
 『ダイナー』(平山夢明著 ポプラ文庫) ID17956
 『伝説の編集者 坂本一亀とその時代』(田邊園子著 河出文庫 2018) ID17973
 『鴨川食堂 まんぷく』(柏井壽著 小学館文庫 2019) ID17974

新書

『老いのゆくえ』(黒井千次著 中公新書 2019) ID17971
 『老いの味わい』(黒井千次著 中公新書 2015) ID17972

★.....★.....★.....★.....★.....★

この本読んでみました・・・
 (文庫の会員から)

『山怪：山人が語る不思議な話』 (田中康弘著 山と溪谷社) ID16853

鈴木 操

この本は現代版遠野物語と呼ばれ、ベストセラーだそうで、三巻まで出ています。著者の田中さんは、マタギの暮らしを撮影してきたカメラマン。この本には秋田のマタギや各地の猟師

等、山で暮らす人々から聞き集めた、山の中での奇妙で不思議な体験の数々が語られています。

狐火、神隠し、謎の巨大な光の塊、現れては消える夜店、山中の不思議な音の数々、景色が左右逆になる、リングワンダリング(方向感覚を失った時、円を描くように同じところをグルグルと歩いてしまう)等々。人間にイタズラを仕掛けているような長閑なものから命を奪うものまで、断片的な話を集めたものですが、全て現代の人々が実際に体験したお話です。

この手の話は語る人も聞く人も少なくなって現在絶滅の危機に瀕しているそうです。なので、この本がNHKドキュメンタリー『異界百名山 体験者が語る不思議な話』として取り上げられ、映像化されたのは嬉しい。実際に体験した人が登場して語り、不思議だけれど山が人を守るような、あたたかい作品になっています。

作者は、取材を終えて読み返すと山怪話の共通点が見えて上がり、日本の山々には異界へと通じる扉があるのではないかと語っています。

古来日本の山は、神と御霊が降りる山岳信仰の地。そして昔から、あの世とこの世の境目、異界への入口と考えられてきました。現代になっても、山に畏敬の念を抱いている人は多いと思いますし、とらえどころのない奇妙で不思議なものが残っているのが嬉しいです。

この文章を書いている、子供の頃、祖母が田んぼの中を歩いていたなら、地面に真っ赤な太陽が落ちていたのを見た、という話を聞かせてくれたのを思い出しました。太陽の正体は化けた狸だったそうです。いま思い出すと豊かで楽しい、祖母との大切な語りの思い出です。

2019年9月に入った子どもの本

絵本

『ナイチンゲール』(アンデルセン作 松井るり子再話 カンタン・グレバン絵 岩波書店) ID13085
 『シマフクロウとサケアイヌのカムイユカラ(神謡より)』(宇根静江古布制作・再話 福音館書店) ID13077
 『シマフクロウちびのぼうけん』(北海道シマフクロウの会さく 土屋慶花え 北海道新聞) ID13078
 『わたしはみんなのおばあちゃん』(ジョナサン・トウィート文 カレン・ルイス絵 真鍋真訳 岩波書店 2019) ID13084
 『いっしょにかえろう』(ハイロ・フイトラゴ文 ラファエル・ジョクテング絵 宇野和美訳 岩波書店) ID13086
 『民主主義は誰のもの?』(ブランデルグループ文 マルタ・ピナ絵 宇野和美訳 あかね書房 2019) ID13083

読み物

『おはげとしゃかん』(斎藤洋作 森田みちよ絵 講談社 2019) ID13082
 『かくれ家のアンネ・フランク』(ヤニー・ファン・デル・モーレン作 西村由美訳 岩波少年文庫 2019) ID13081
 『クレスカ 15歳 冬の終わりに』(M.M.シェロヴィチ作 田村和子訳 岩波書店) ID13079

詩・参考図書

『こども「折々のうた」100』(大岡信著 長谷川權監修 小学館) ID13080
 『子どもの本のもつ力』(清水真砂子著 大月書店 2019) ID13071

広瀬おばさんからいただきました!!

絵本

『どんどんばしわたれ(わらべうたえほん)』(こばやしえみこ案 ましませつこ絵 こぐま社 2018) ID13119
 『ねずみのシーモア』(池田朗子作 福田利之絵 あかね書房 2019) ID13120
 『だっぴ!』(北村直子作 こぐま社 2019) ID13121
 『きょうりゅうのサン いまはくはここにいる』(かさいまりぶん 星野イクミえ アリス館 2019) ID13124
 『かくれんぼでもういいかい』『おまごごとであそびましょ!』(くやぎたよしこぶん わかやますこえ 童心社 2019) ID13128 と ID13129
 『えほん東京』(小林豊作・絵 ポプラ社 2019) ID13130
 『やんばらの少年』(たじまゆきひこ作 童心社 2019) ID13126 『そうべえときじむな』(たじまゆきひこ作 童心社 2018) ID13122
 『南極点-夢に挑みつづけた男』(関屋敏隆文・型染版画 ポプラ社 2018) ID13116
 『こどものためのバレエ・ストーリー』(セイビア・ピロッタ文 フリジェット・パラジャー絵 田中奈津子訳 文化出版局 2019) ID13134
 『ねえさんといもうと』(シャーロット・ソロトウ文 酒井駒子絵・訳 2019) ID13140
 『きのうをみつきたい!』(アリソン・ジェイ作・絵 蜂飼耳訳 徳間書店 2018) ID13138
 『つかまるわけないだろ!』(ティモシー・ナップマン文 シモーナ・チラオロ絵 ふししみさお訳 徳間書店 2017) ID13137
 『もりのおうちのきいちごジュース』(ハヤ・シェンハヴ文 タマラ・リックマン絵 樋口範子訳 徳間書店 2019) ID13139

『ローラとわたし』(キアラ・ヴァレンティナ・セクレ文 パオロ・ドメニコ二絵 杉本あり訳 徳間書店 2018) ID13138
 『すなのたね』(シビル・ドラクワ作 石津ちひろ訳 講談社 2018) ID13131
 『かあさん、だいすき』(シャーロット・ソロトウ文 シャーロット・ヴォーク絵 松井るり子訳 徳間書店 2018) ID13133
 『エベレスト-命・祈り・挑戦』(サングマ・フランシス文 リスク・フェン絵 千葉茂樹訳 徳間書店 2019) ID13135
 『母が作ってくれたすごろく-ジャウ島日本軍抑留所での子ども時代』(アネ=ルト・ウェルトハイム・) ID13127

13日の夜、中秋の名月(十五夜)見た?

読み物

低学年

『物語 たくさんのお月さま』(ジェームズ・サーバー作 ルイス・スロボドキン絵 なかがわちひろ訳 徳間書店) ID13106
 『てんこうせいはワニだった!』(おのりえん作・絵 こぐま社 2017) ID13107
 『ひきかえるにげんまん』(最上一平作 武田美穂絵 ポプラ社 2018) ID13108
 『もりのゆうびんやさん』(原京子作 高橋和枝絵 ポプラ社 2019) ID13109
 『タヌキの教室』(山下明生作 長谷川義史絵 あかね書房 2019) ID13111
 『おばあちゃんのわすれもの』(森山京作 100% ORANGE 絵 のら書店 2018) ID13112

